

TDIV

2024/09/30

ファーストトラスト ナスダック テクノロジー 配当指数ファンド

≫ ファンドの目的

この上場投資信託は、Nasdaq Technology Dividend™ Indexと呼ばれる株価指数の価格と利回り（ファンドの手数料および費用控除前）に概ね連動する投資成果を目指します。

≫ ファンド概要

ファンドティッカー	TDIV
ISIN	US33738R1187
CUSIP	33738R118
iNAVティッカー	TDIVIV
ファンド設定日	2012/8/13
総経費率 [^]	0.50%
30日SEC利回り [†]	1.62%
リバランス頻度	四半期毎
主要取引所	Nasdaq

≫ 連動指数の概要

指数ティッカー	NQ96DIVUSX
指数設定日	2012/6/20
指数の利回り [‡]	2.15%

≫ 指数会社による連動指数の説明

- ≫ 指数の構成銘柄に採用されるには、ナスダック、ニューヨーク証券取引所、またはNYSE AMEXに上場し、業種分類ベンチマーク (ICB) に従ってテクノロジーまたは通信会社として分類される必要があります。
- ≫ 各銘柄は、時価総額が5億ドル以上、1日取引高の3ヶ月間平均が100万ドル以上、過去12ヶ月以内に普通配当を支払っている、配当利回りが0.5%以上、過去12ヶ月以内に1株当たりの普通配当が減少していない、現在破産手続き中の会社が発行したものでない、といった条件を満たす必要があります。
- ≫ 当指数は3月と9月の半年ごとに評価されますが、それ以外の時点で、構成銘柄が適格基準を満たさなくなった場合、または指数への組み入れが不適格と判断された場合、指数の構成銘柄から除外され、入れ替えは行われません。
- ≫ 指数は修正配当加重方式を採用しています。各評価において、指数銘柄は ICB の分類に基づきテクノロジーと通信会社に分類されます。各セクターへの組入比率は、指数全体でテクノロジー銘柄80%、通信銘柄20%の加重が与えられます。大型株への集中を防ぐために、組入比率には上限が設けられています。
- ≫ 当指数は四半期ごとにリバランスが行われます。

≫ パフォーマンス概要(%)

	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド・パフォーマンス*							
基準価額 (NAV)	6.32	26.54	45.65	14.76	17.30	14.10	14.87
市場価格	6.35	26.53	45.64	14.77	17.29	14.10	14.87
指数パフォーマンス**							
Nasdaq Technology Dividend™ Index	6.51	27.16	46.66	15.47	18.04	14.83	15.61
S&P 500® Information Technology Index	1.61	30.31	52.68	19.89	26.74	22.40	21.57
S&P 500® Index	5.89	22.08	36.35	11.91	15.98	13.38	14.49

≫ 年次トータルリターン(%)

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	YTD
TDIV	15.54	-5.97	19.63	21.90	-3.01	33.31	17.27	29.56	-22.14	36.78	26.54
S&P 500® Information Technology Index	20.12	5.92	13.85	38.83	-0.29	50.29	43.89	34.53	-28.19	57.84	30.31
S&P 500® Index	13.69	1.38	11.96	21.83	-4.38	31.49	18.40	28.71	-18.11	26.29	22.08

≫ 3年間の統計

	標準偏差(%)	アルファ	ベータ	シャープレシオ	相関関係
TDIV	20.21	2.38	1.07	0.62	0.93
S&P 500® Information Technology Index	24.02	5.85	1.26	0.74	0.92
S&P 500® Index	17.53	—	1.00	0.54	1.00

引用されているパフォーマンスデータは過去のもので、過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は www.ftportfolios.jp から確認できます。

[^] 投資アドバイザーは一定の資産水準においてファンドの投資運用報酬を減額する報酬ブレイクポイントを導入しています。詳細につきましてはファンドの追加情報説明書をご覧ください。ファンドの追加情報説明書は www.ftportfolios.com から入手できます。

[†] 30日SEC利回りは、直近の30日間に獲得した1株当たりの純投資利益を、期末日の1株当たりの最大公開価格で割って算出されます。

[‡] 指数利回りは、Nasdaq Technology Dividend™ Indexの構成銘柄の過去12ヶ月間の配当金の加重平均値です。

* 基準価額 (NAV) リターンは、ファンドの純資産 (資産から負債を差し引いたもの) をファンドの発行済み株数で割った基準価額 (NAV) に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価額 (NAV) リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。

** 掲載されている各指数のパフォーマンス情報は、例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。指数のパフォーマンスは運用手数料や仲介費用がかからず、表示されたパフォーマンスから、そのような手数料や費用は差し引かれていません。指数は運用されていないため、投資家は指数に直接投資することはできません。

ファーストトラスト ナスダック テクノロジー 配当指数ファンド

2024/09/30

ポर्टフォリオ情報

保有銘柄数	87
最大時価総額	\$3,198.44 Billion
時価総額中央値	\$21.83 Billion
最小時価総額	\$641 Million
株価収益率	28.14
株価純資産倍率	4.93
株価キャッシュフロー倍率	15.70
株価売上高倍率	3.07

上位保有10銘柄(%)

International Business Machines Corporation	8.45
Oracle Corporation	8.43
Broadcom Inc.	8.19
Microsoft Corporation	7.97
Texas Instruments Incorporated	7.25
QUALCOMM Incorporated	3.75
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	3.66
Analog Devices, Inc.	2.90
AT&T, Inc.	2.14
Verizon Communications, Inc.	2.08

業種別内訳(%)

Semiconductors & Semiconductor Equipment	36.61
Software	20.35
IT Services	10.20
Diversified Telecommunication Services	9.52
Technology Hardware, Storage & Peripherals	6.05
Electronic Equipment, Instruments & Components	4.89
Communications Equipment	4.70
Wireless Telecommunication Services	3.70
Media	2.22
Professional Services	1.43

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料と費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関する情報やその他の情報が記載されている目論見書入手するには、**First Trust Japan (www.ftportfolios.jp)** にお問い合わせください。目論見書は、投資を行う前によくお読み下さい。

リスクに関する考慮事項

ファンドへの投資において、損失が発生する可能性があります。ファンドへの投資は銀行預貯金ではなく保険や保証はありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料がかかる場合があります。ファンドのリスクに関する詳細については、各ファンドの目論見書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性の順位を示すものではありません。

投資信託とは異なり、ファンドの株式は、許可された参加者のみが非常に大規模な設定/償還単位でファンドから直接償還できます。ファンドの権限を与えられた参加者が設定/償還注文を進めることができず、他の参加者が設定または償還に踏み切らない場合、ファンドの株式はファンドの基準価額に対してプレミアムまたは割引で取引され、上場廃止に直面し、ビッド/アスクスプレッドが拡大する可能性があります。

ファンドによるコールオプションの使用には、通常のポートフォリオ証券取引とは異なるリスクが伴い、ファンドのポートフォリオマネージャーが市場の動きを正しく予測する能力に依存します。コールオプションの売り手（ライター）として、参照指数または証券の価値が行使価格を上回った場合、損失を被る傾向があります。コールオプションを売却するとき、ファンドはオプション保有者によるオプションの行使を制御することはできず、ファンドが販売するアメリカンスタイルのオプションは、オプションの満期日以前いつでも行使することができます（満期日にのみ行使できるヨーロッパスタイルのオプションとは対照的です）。ファンドがオプションを決済するために証券を売却する必要がある場合があり、それは資本のリターンを構成し、ファンドを他のETFよりも税効率が悪くなる可能性があります。また、オプションにはレバレッジの使用が含まれる場合があり、その結果、他の市場よりも価格の変動が大きくなる可能性があります。

設定と償還の全部または一部を現物ではなく現金に換えるファンドは、税効率が低くなる可能性があります。

ファンドは、カウンターパーティーがその義務を履行しないリスクにさらされる可能性があります。その結果、ファンドに重大な経済的損失が生じる可能性があります。

現在の市況リスクとは、特定の投資、またはファンドの株式全般が、現在の市況により価値が下落するリスクです。インフレ対策として、米連邦準備制度理事会(FRB)をはじめとする特定の外国中央銀行は金利引き上げを行っており、今後も引き上げを継続する見込みであり、米連邦準備制度理事会(FRB)は、以前に実施した量的緩和を反転させる意向を表明しています。最近、および将来起こる銀行の破綻は、銀行業界や市場全般に混乱をもたらす、金融機関や経済全体に対する信用を低下させる可能性があります。その結果、市場の変動性が高まり、流動性が低下する可能性があります。欧州ではロシアとウクライナ、中東ではイスラエルとマスのその他の武装勢力の間で武力紛争が続いており、ロシア、ヨーロッパ、中東、米国の市場において、重大な市場の混乱と変動を引き起こしており、今後も引き起こす可能性があります。これらの敵対行為に起因する敵対行為や制裁は、特定のファンド投資だけでなく、ファンドのパフォーマンスや流動性にも大きな影響を与えており、今後も大きな影響を与える可能性があります。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的大流行、または将来の公衆衛生危機、およびそれに伴う政府や中央銀行による政策は、世界の金融市場に大きな変動性と不確実性を引き起こし、今後も引き起こす可能性があります。世界の成長見通しに悪影響を及ぼしています。

ファンドは、サイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けやすいです。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加のコンプライアンス費用、およびまたは財務上の損失を被る可能性があります。

預託証券は、主要な取引市場における原資産株式よりも流動性が低く、分配金には手数料がかかる場合があります。保有者は議決権が限られている場合があり、特定の国における投資制限がその価値に悪影響を及ぼす可能性があります。

デリバティブ商品の使用には、カウンターパーティーリスク、バリエーションリスク、ポラリティリスク、流動性リスクなど、証券に直接投資するリスクとは異なる、場合によってはより大きなリスクが伴います。さらに、原資産の価格または価値、指数またはレートの不利な動きによる損失は、デリバティブ

の特定の特徵によって拡大される場合があります。ファンドは通常、収益を分配金として支払うため、収益が不十分な場合、ファンドは分配金の減額を必要とする場合があります。さらに、通常であれば売却しない証券をファンドが売却する必要がある場合があり、その売却による分配金が資本のリターンに該当する可能性があります。このためファンドの元本投資が時間経過とともに減少することを望まない投資家、または特定期間には資本のリターンを受け取りたくない投資家にとって適切な投資ではない可能性があります。

配当金支払証券を発行する会社は、その証券の配当金を継続して支払う必要はありません。そのため、そのような企業が将来、配当金の支払いを減額または廃止する可能性があります。

株式証券は、短期間または長期間にわたって価格が大幅に下落する可能性があります。そのような下落は株式市場全体で発生する場合もあれば、特定の国、企業、業界、または市場のセクターのみで発生する場合もあります。

ファンドは、ファンドの取引活動、規模、変動に大きな影響を与える可能性のある1つ以上の指数またはモデルの構成銘柄となる場合があります。インフレが進行すると、ファンドの資産と分配金の現在価値が低下する可能性があります。

情報技術企業は、急速に変化する技術、短い製品ライフサイクル、激しい競争、厳しい価格設定と利益率の低下、特許、著作権、商標保護の損失、周期的な市場パターン、進化する業界標準と規制、頻繁な新製品の導入など、特定のリスクにさらされています。

大規模な資本企業は、市場全体よりも遅い速度で成長する可能性があります。

レバレッジは、当初の投資額を超える損失を生じさせる可能性があり、損失率を加速させる可能性があります。レバレッジは、資産または資産のクラスに対するファンドのエクスポージャーの増減の影響を、時には大幅に拡大する傾向があり、ファンドの株式の価値が変動し、市場の変動に敏感になる可能性があります。

ファンド投資の中には、転売、店頭取引や取引量の制限、または活発な取引市場が不足している場合があります。流動性の低い証券は割引価格で取引される場合があり、市場価値の大幅な変動の影響を受ける可能性があります。

アクティブ運用ポートフォリオのポートフォリオマネージャーは、投資手法とリスク分析を適用しますが、これらは望ましい結果をもたらさない可能性があります。

市場リスクとは、特定の証券、またはファンドの株式全般が値下がりするリスクです。証券は、一般的な経済状況、政治情勢、規制または市場の動向、金利の変化、証券価格の動向などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式の価値が下落したり、他の投資を下回ったりする可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他の公衆衛生問題、不況、自然災害、その他の事象など、地域的、地方的、または世界的な出来事は、ファンドに重大な悪影響を与える可能性があります。

ファンドが直面する市場取引リスクには、マーケットメーカーの数が限られているためにファンド株式の活発な市場が欠如している可能性など多くのものがあります。マーケットメーカーや公認参加者が市場ストレス時に役割の縮小や退去することにより、ファンドのポートフォリオ証券の原資産価格とファンドの市場価格の関係性を維持するアービトラージ プロセス、すなわち裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります。

大規模な資金流入と流出は、新しいファンドの市場エクスポージャーに一定期間、影響を与える可能性があります。

「非分散型」に分類されたファンドは、その資産の比較的高い割合を限られた数の発行体に投資する場合があります。その結果、ファンドは、これらの発行体の1社もしくは複数社に影響を与える単一の経済的または規制上の不利な事象の影響を受けやすくなり、ポラリティが増加し、特定の発行体に高く集中的な可能性があります。

米国以外の証券発行体は、通貨の変動、政治的リスク、源泉徴収、流動性の欠如、適切な財務情報の欠如、米国外の発行体に影響を与える為替管理の制限など、さらなるリスクにさらされています。

ファンド、およびファンドのアドバイザーは、管理や手続きを通じて様々な

運用リスクの低減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドは、カスタディを含むさまざまなサービスについて第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や失敗は、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

オプションの価格は変動が激しく、オプションの効果的な使用は、ファンドが望ましいと思われる時期にオプションのポジションを終了する能力にかかっています。ファンドが特定の時期、または許容可能な価格で取引を終了できるという保証はありません。

ファンドの株式投資とコールオプションの売却は相関しておらず、パフォーマンスは互いに独立しています。市場の事象は、ファンドが保有する一方のポジションが他方のポジションよりも大きな影響を与える可能性があり、ファンドの株式証券への投資およびコールオプション売却からのリターンは、互いに同じ方向に動かない可能性があります。

ポートフォリオの回転率が高く、取引コストの水準が高くなり、株主の税負担が大きくなる可能性があります。

ファンドの株式の市場価格は、一般的にファンドの基準価額 (NAV) の変化、および取引所で株式の相対的な供給と需要に応じて変動し、ファンドの投資アドバイザーは、株式がNAVを下回るか、NAVで取引されるか、NAVを上回って取引されるかを予測することはできません。

単一の資産クラス、国、地域、業界、セクターへのエクスポージャーが大きいファンドは、広く分散されたファンドよりも、経済的または政治的な不利な事象の影響をより受ける可能性があります。

中小企業企業は、より大規模で確立された企業よりも価格の変動が大きく、流動性が低下する可能性があります。

ファンドが課税年度のRICとして適格ではなく、特定の救済規定が利用できなかった場合、ファンドの課税所得はファンドレベルで課税され、そのよう所得が分配されるときに市場レベルでさらに課税されます。さらに、ファンドへの投資の種類に基づいて、ファンドに他の税務上の影響がある場合があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止される場合があります。また、ファンドが取引市場を維持するための要件が今後も引き続き満たされ変わらないという保証はありません。

ファンドが保有する証券やその他の資産は、市場相場以外の要素に基づいて評価される可能性があります。これは、資産または証券が中央集権的な取引所で取引されないため、または市場の混乱や流動性の低下時に発生する可能性があります。「公正評価」資産や有価証券など、市場相場以外の手法を使用して評価されたポートフォリオ保有は、市場相場が使用された場合よりも、日によって評価に大きな変動が生じる可能性があります。ファンドがいつでも設定された価値で売却、またはポートフォリオポジションをクローズできるという保証はありません。

FFirst Trust Advisors L.P.は、当ファンドのアドバイザーです。First Trust Portfolios L.P.は、当ファンドの販売代理店であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。ファーストトラスト・ジャパンは、当ファンドの副販売会社です。

記載されている情報は、特定の人物に対する投資の推奨や助言を意図するものではありません。また、本資料は暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に投資戦略に関する判断を下したり、ファンドの現在または将来の価値や価格に関する意見を提供したりものではありません。ファーストトラストは、投資家に関する知識はなく、いかなる情報も提供していません。金融専門家は、特定の投資が顧客に適しているかどうかを判断する必要があります。

定義

標準偏差は、価格変動性（リスク）の尺度です。アルファは、投資がベンチマークと比較してリスク調整済みベースでどれだけアウトパフォームまたはアンダーパフォームするかを示す指標です。ベータは、市場に対する価格変動の尺度です。シャープレシオは、ポラリティの単位あたりの超過報酬の尺度です。相関関係は、パフォーマンスの類似性の尺度です。S&P 500®情報技術指数は、S&P 500指数の情報技術セクターの全株式を含んでいます。S&P 500®指数は、米国株式市場の大型株のパフォーマンスを測定するために使用される500社から構成される非管理指数です。

Nasdaq® および Nasdaq Technology Dividend™ Index は、Nasdaq, Inc. (以下、その関連会社と総称して「企業」) の登録商標およびサービスマークであり、ファーストトラストが使用を許可しています。ファンドは、その合法性または適合性に関して、企業によって渡されていません。ファンドは、企業によって発行、承認、販売、または宣伝されていません。企業は、ファンドに関していかなる保証も行わず、いかなる責任も負いません。

As of 30/9/24

>> Fund Objective

This exchange-traded fund seeks investment results that correspond generally to the price and yield (before the fund's fees and expenses) of an equity index called the Nasdaq Technology Dividend™ Index.

>> Fund Facts

Fund Ticker	TDIV
ISIN	US33738R1187
CUSIP	33738R118
Intraday NAV	TDIVV
Fund Inception Date	13/8/12
Total Expense Ratio [^]	0.50%
30-Day SEC Yield [†]	1.62%
Rebalance Frequency	Quarterly
Primary Listing	Nasdaq

>> Index Facts

Index Ticker	NQ96DIVUSX
Index Inception Date	20/6/12
Index Yield [‡]	2.15%

>> Index Description According to the Index Provider

- >> To be included in the index, the security must be listed on Nasdaq, Inc., the New York Stock Exchange, or the NYSE Amex and classified as a technology or telecommunications company according to Industry Classification Benchmark (ICB).
- >> Each security must have a minimum market capitalization of \$500 million, have a minimum three-month average daily dollar trading volume of \$1 million, have paid a regular or common dividend within the past 12 months; have a yield of at least 0.5%; have not had a decrease in common dividends per share paid within past 12 months; and may not be issued by an issuer currently in bankruptcy proceedings.
- >> The index is evaluated semi-annually in March and September, but if at any time during the year other than the evaluation, an index security no longer meets the eligibility criteria, or is otherwise determined to have become ineligible for inclusion in the index, the security is removed from the Index and is not replaced.
- >> The index employs a modified dividend value weighting methodology. At each evaluation, the index securities are classified as technology or telecommunications based on their ICB classification. The technology securities are given a collective weight of 80% and the telecommunications securities are given a collective weight of 20% in the index. The index weighting methodology includes caps to prevent high concentrations among larger stocks.
- >> The index is rebalanced quarterly.

>> Performance Summary (%)

	3 Month	YTD	1 Year	3 Year	5 Year	10 Year	Since Fund Inception
Fund Performance*							
Net Asset Value (NAV)	6.32	26.54	45.65	14.76	17.30	14.10	14.87
Market Price	6.35	26.53	45.64	14.77	17.29	14.10	14.87
Index Performance**							
Nasdaq Technology Dividend™ Index	6.51	27.16	46.66	15.47	18.04	14.83	15.61
S&P 500® Information Technology Index	1.61	30.31	52.68	19.89	26.74	22.40	21.57
S&P 500® Index	5.89	22.08	36.35	11.91	15.98	13.38	14.49

>> Calendar Year Total Returns (%)

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	YTD
TDIV	15.54	-5.97	19.63	21.90	-3.01	33.31	17.27	29.56	-22.14	36.78	26.54
S&P 500® Information Technology Index	20.12	5.92	13.85	38.83	-0.29	50.29	43.89	34.53	-28.19	57.84	30.31
S&P 500® Index	13.69	1.38	11.96	21.83	-4.38	31.49	18.40	28.71	-18.11	26.29	22.08

>> 3-Year Statistics

	Standard Deviation (%)	Alpha	Beta	Sharpe Ratio	Correlation
TDIV	20.21	2.38	1.07	0.62	0.93
S&P 500® Information Technology Index	24.02	5.85	1.26	0.74	0.92
S&P 500® Index	17.53	—	1.00	0.54	1.00

Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting www.ftportfolios.jp.

^{*}The Investment Advisor has implemented fee breakpoints, which reduce the fund's investment management fee at certain assets levels. Please see the fund's Statement of Additional Information for full details. You can obtain the fund's Statement of Additional Information by visiting www.ftportfolios.jp.

[†]30-day SEC yield is calculated by dividing the net investment income per share earned during the most recent 30-day period by the maximum offering price per share on the last day of the period.

[‡]Index yield represents the weighted average trailing 12-month dividend of the constituents of the Nasdaq Technology Dividend™ Index.

^{*}NAV returns are based on the fund's net asset value which represents the fund's net assets (assets less liabilities) divided by the fund's outstanding shares. Market Price returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price ("NBBO") as of the time that the fund's NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative.

^{**}Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

>> Portfolio Information

Number Of Holdings	87
Maximum Market Cap.	\$3,198.44 Billion
Median Market Cap.	\$21.83 Billion
Minimum Market Cap.	\$641 Million
Price/Earnings	28.14
Price/Book	4.93
Price/Cash Flow	15.70
Price/Sales	3.07

>> Top Holdings (%)

International Business Machines Corporation	8.45
Oracle Corporation	8.43
Broadcom Inc.	8.19
Microsoft Corporation	7.97
Texas Instruments Incorporated	7.25
QUALCOMM Incorporated	3.75
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	3.66
Analog Devices, Inc.	2.90
AT&T, Inc.	2.14
Verizon Communications, Inc.	2.08

>> Top Industry Exposure (%)

Semiconductors & Semiconductor Equipment	36.61
Software	20.35
IT Services	10.20
Diversified Telecommunication Services	9.52
Technology Hardware, Storage & Peripherals	6.05
Electronic Equipment, Instruments & Components	4.89
Communications Equipment	4.70
Wireless Telecommunication Services	3.70
Media	2.22
Professional Services	1.43

You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Japan at www.ftportfolios.jp to obtain a prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus should be read carefully before investing.

Risk Considerations

You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.

Unlike mutual funds, shares of the fund may only be redeemed directly from a fund by authorized participants in very large creation/redemption units. If a fund's authorized participants are unable to proceed with creation/redemption orders and no other authorized participant is able to step forward to create or redeem, fund shares may trade at a premium or discount to a fund's net asset value and possibly face delisting and the bid/ask spread may widen.

A fund's use of call options involves risks different from those associated with ordinary portfolio securities transactions and depends on the ability of a fund's portfolio managers to forecast market movements correctly. As the seller (writer) of a call option, a fund will tend to lose money if the value of the reference index or security rises above the strike price. When writing a call option, a fund will have no control over the exercise of the option by the option holder and the American style options sold by a fund may be exercised at any time before the option expiration date (as opposed to the European style options which may be exercised only on the expiration date). There may be times a fund needs to sell securities in order to settle the options, which may constitute a return of capital and make a fund less tax-efficient than other ETFs. Options may also involve the use of leverage, which could result in greater price volatility than other markets.

A fund that effects all or a portion of its creations and redemptions for cash rather than in-kind may be less tax-efficient.

A fund may be subject to the risk that a counterparty will not fulfill its obligations which may result in significant financial loss to a fund.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. As a means to fight inflation, the Federal Reserve and certain foreign central banks have raised interest rates; however, the Federal Reserve has recently lowered interest rates and may continue to do so. Recent and potential future bank failures could result in disruption to the broader banking industry or markets generally and reduce confidence in financial institutions and the economy as a whole, which may also heighten market volatility and reduce liquidity. Ongoing armed conflicts between Russia and Ukraine in Europe and among Israel, Hamas and other militant groups in the Middle East, have caused and could continue to cause significant market disruptions and volatility within the markets in Russia, Europe, the Middle East and the United States. The hostilities and sanctions resulting from those hostilities have and could continue to have a significant impact on certain fund investments as well as fund performance and liquidity. The COVID-19 global pandemic, or any future public health crisis, and the ensuing policies enacted by governments and central banks have caused and may continue to cause significant volatility and uncertainty in global financial markets, negatively impacting global growth prospects.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Depository receipts may be less liquid than the underlying shares in their primary trading market and distributions may be subject to a fee. Holders may have limited voting rights, and investment restrictions in certain countries may adversely impact their value.

The use of derivatives instruments involves different and possibly greater risks than investing directly in securities including counterparty risk, valuation risk, volatility risk, and liquidity risk. Further, losses because of adverse movements in the price or value of the underlying asset, index or rate may be magnified by certain features of the derivatives.

A fund normally pays its income as distributions and therefore, a fund may be

required to reduce its distributions if it has insufficient income. Additionally at times, a fund may need to sell securities when it would not otherwise do so and could cause distributions from that sale to constitute return of capital. Because of this, a fund may not be an appropriate investment for investors who do not want their principal investment in a fund to decrease over time or who do not wish to receive return of capital in a given period.

Companies that issue dividend-paying securities are not required to continue to pay dividends on such securities. Therefore, there is a possibility that such companies could reduce or eliminate the payment of dividends in the future.

Equity securities may decline significantly in price over short or extended periods of time, and such declines may occur in the equity market as a whole, or they may occur in only a particular country, company, industry or sector of the market.

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

As inflation increases, the present value of a fund's assets and distributions may decline.

Information technology companies are subject to certain risks, including rapidly changing technologies, short product life cycles, fierce competition, aggressive pricing and reduced profit margins, loss of patent, copyright and trademark protections, cyclical market patterns, evolving industry standards and regulation and frequent new product introductions.

Large capitalization companies may grow at a slower rate than the overall market.

Leverage may result in losses that exceed the amount originally invested and may accelerate the rates of losses. Leverage tends to magnify, sometimes significantly, the effect of any increase or decrease in a fund's exposure to an asset or class of assets and may cause the value of a fund's shares to be volatile and sensitive to market swings.

Certain fund investments may be subject to restrictions on resale, trade over-the-counter or in limited volume, or lack an active trading market. Illiquid securities may trade at a discount and may be subject to wide fluctuations in market value.

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund faces numerous market trading risks, including the potential lack of an active market for fund shares due to a limited number of market makers.

Decisions by market makers or authorized participants to reduce their role or step away in times of market stress could inhibit the effectiveness of the arbitrage process in maintaining the relationship between the underlying values of a fund's portfolio securities and a fund's market price.

Large inflows and outflows may impact a new fund's market exposure for limited periods of time.

A fund classified as "non-diversified" may invest a relatively high percentage of its assets in a limited number of issuers. As a result, a fund may be more susceptible to a single adverse economic or regulatory occurrence affecting one or more of these issuers, experience increased volatility and be highly concentrated in certain issuers.

Securities of non-U.S. issuers are subject to additional risks, including currency fluctuations, political risks, withholding, lack of liquidity, lack of adequate financial information, and exchange control restrictions impacting non-U.S. issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's

ability to meet its objective.

The prices of options are volatile and the effective use of options depends on a fund's ability to terminate option positions at times deemed desirable to do so. There is no assurance that a fund will be able to effect closing transactions at any particular time or at an acceptable price.

A fund's investment in equity securities and written call options are not correlated, meaning the performance is independent of one another. Market events may impact one position held by a fund more than the other position and the returns from a fund's investments in equity securities and written call options may not move in the same direction as one another.

High portfolio turnover may result in higher levels of transaction costs and may generate greater tax liabilities for shareholders.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

A fund with significant exposure to a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by an adverse economic or political development than a broadly diversified fund.

Securities of small- and mid-capitalization companies may experience greater price volatility and be less liquid than larger, more established companies.

If a fund does not qualify as a RIC for any taxable year and certain relief provisions were not available, a fund's taxable income would be subject to tax at the fund level and to a further tax at the shareholder level when such income is distributed. Further, there may be other tax implications to a fund based on the type of investments in a fund.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

A fund may hold securities or other assets that may be valued on the basis of factors other than market quotations. This may occur because the asset or security does not trade on a centralized exchange, or in times of market turmoil or reduced liquidity. Portfolio holdings that are valued using techniques other than market quotations, including "fair valued" assets or securities, may be subject to greater fluctuation in their valuations from one day to the next than if market quotations were used. There is no assurance that a fund could sell or close out a portfolio position for the value established for it at any time.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor. First Trust Japan is the fund's sub-distributor.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. Nor does the document implicitly or explicitly recommend or suggest an investment strategy, reach conclusions in relation to an investment strategy for the reader or provide an opinion as to the present or future value or price of any fund. First Trust has no knowledge of and has not been provided any information regarding any investor. Financial professionals must determine whether particular investments are appropriate for their clients.

Definitions

Standard Deviation is a measure of price variability (risk). **Alpha** is an indication of how much an investment outperforms or underperforms on a risk-adjusted basis relative to its benchmark. **Beta** is a measure of price variability relative to the market. **Sharpe Ratio** is a measure of excess reward per unit of volatility. **Correlation** is a measure of the similarity of performance. **The S&P 500® Information Technology Index** includes all of the stocks in the information technology sector of the S&P 500 Index. **The S&P 500® Index** is an unmanaged index of 500 companies used to measure large-cap U.S. stock market performance.

ご留意事項

- ◆ 本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「PPM（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。
- ◆ 本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。
- ◆ 本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。
- ◆ 本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものではなく、記載内容は予告なく変更されることがあります。
- ◆ 本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆ ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ◆ 本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2024112601

Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）

第一種及び第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2315号 加入協会：日本証券業協会
住所：〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階 Tel：03-4550-2518（代）
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp